

第10回

日本ディサースリア臨床研究会主催

STのための ミニレクチャー

音声治療を

会員限定

“喉頭感覚”として考える

音声治療は呼気や共鳴腔の使い方を変化させることで発声動態を適正化させるものです。しかし音声治療で用いる呼気流や共鳴を「喉頭感覚」ととらえ、この喉頭感覚が発声調整に関与しているという考え方は音声障害治療面で十分浸透していません。音声治療において発声動態の適正化を行うために発声時の喉頭感覚を調節することが重要、という概念が科学的に検証され、その有効性が確立されて臨床に浸透すれば、難治性の音声障害に対する治療の選択肢がひろがるかもしれません。今回その研究についてご紹介いたします。

日時

2025年

9月24日（水） 19:00-20:00

開催

方法

Zoom
ウェビナー

定員：300名

※申し込み先着順で、定員になり次第
締め切らせていただきます

講師

京都府立医科大学

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

金子 真美 先生

参加

費用

日本ディサースリア臨床研究会 会員：無料
※非会員の方は入会後にお申し込みください

参加
申込

申込受付開始：8月上旬～

受付方法についてはあらためてご連絡いたします。

お問い合わせ

日本ディサースリア臨床研究会ミニレクチャー実行委員会
E-mail: koho@dysarthrias.com